

# ならやま虫だより

菊川 年明



# 里山の今

# ならやま花だより

桜木 晴代

## ◆ならやまのレンギョウを

### ご存知ですか？

## ◆初夏のシジミチョウ

初夏の ならやまに現れる 2種のシジミチョウをご紹介します。ミズイロオナガシジミとアカシジミである。シジミチョウ類は貝のシジミになぞらえられるくらい小さいチョウであるから、たくさんいる種類以外は目に止まりにくい。

ご紹介する 2種のシジミチョウは、どちらも幼虫はコナラやクヌギの葉が餌なので、雑木林の周辺に生息する。翅を閉じて止まっていることが多く、どちらもほぼ1円玉に収まる大きさである。

ちなみに、どちらも、ならやまではときどき見かけるチョウであるが、奈良県では希少種に指定されている。

### \*ミズイロオナガシジミ

止まっているときはたいてい翅を閉じているので、白い地色に黒色のまだらと帯のある裏面を見せている。翅の表面は灰白色であるが、目にすることはめったにない。後翅には繊細な尾状突起がある。活動は夕方、昼間は休んでいることが多い。



### \*アカシジミ

翅の色彩は表裏とも赤みがかかったオレンジ色であるが、止まっているときは翅を閉じているので、帯状の模様のある裏面を見せている。後翅には前種と同様に繊細な尾状突起がある。本種も活動は夕方、昼間はたいてい休んでいる。



バスまたは電車でベースキャンプに通う人は毎年目にする鮮やかな黄色の見事な花の垣根。活動日ごとに蕾がふくらみ、徐々に色づいていく垣根。その黄色い花の名はレンギョウです。

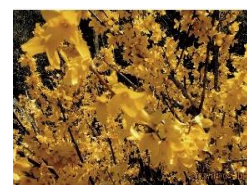
そのレンギョウはならやま会館の向かいの竹藪の道路際に並んで植えられています。「10年程前に古川さんが挿し木で増やした苗木が立派に育ったのだ」と、どなたかが教えてくれました。

そこで古川さんに取材したところ、やはり 10年ほど前に水本さんたちと春先に咲く鮮やかな黄色のレンギョウを植えようということになり、古川さんが挿し木で苗を育て移植したということでした。レンギョウには数種類あり色鮮やかなものを選び、水本さんが中心となり熱心に世話をして今日の姿になったとのこと。

### 花盛り



### 満開のレンギョウ



### 苗木

### 花の後



すでに花は終わってしまっているので来年の予告となりました。まだ見たことのない方は見事ですのでぜひ来年ご覧ください。

これからの季節に目を楽しませてくれるのがアジサイです。西谷さんが手塩にかけた様々な種類の花が咲きます。ぜひひとつひとつの花をご鑑賞ください。今年の蕾

### 昨年の切り花

